

経済消防常任委員会審査概要報告書

委員長 野上 達夫

- I 開催年月日 平成 29 年 5 月 11 日（木）
II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 16 分
III 出席委員等〔出席委員〕◎野上 達夫 ○薮中 一夫 永森 茂
曾田 康司 四十九清治 畠 起也
（◎…委員長、○…副委員長）
〔議長〕※曾田 康司議長は委員として出席
〔副議長〕樋詰 和子
〔説明員〕別紙名簿のとおり
〔委員外議員〕なし
〔事務局職員〕敦賀 茂樹 安東 浩志 柚原 規泰
六土 幸拓
〔傍聴者〕なし

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔消防本部〕

。高岡市防災講習会について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

2 その他

〈 委員から次のような質疑があった。 〉

（以下、質疑・質問内容は ○、答弁内容は △ で表示）

【株式会社能作の産業観光に対する取り組みについて】

- 株式会社能作では新社屋移転後、工場見学、生型鑄造体験で年間 5 万人以上の来場を目指している。中には旅行会社からの観光ツアーの送り込みの際に、紹介手数料を請求されることもあると聞いている。能作の取り組みの他、産業観光が脚光を浴びているが、市の産業観光に対する見解は。
- △ 産業観光は、工場の見学や体験といった民間企業の取り組みの一つと認識している。民間の取り組みの中で行政として何ができるかを今後検討したい。
- 能作を成功例として、市も積極的に産業観光に関わっていくべきだと考えるが、見解は。
- △ 能作に限らず、伝統産業青年会のクラフトツーリズムやその他企業等でもいろいろな取り組みを行っていることから、これらをモデルケースとして市の観光強化につなげていきたい。また市からの協力体制として、例えば能作新社屋を活用して会議を開催するなど、いろいろな面からの協力体制も検討したい。

【横田本町の火災現場について】

- 横田本町の火災についていまだ現場が立ち入り禁止になっているがその理由は。
- △ 警察と消防で火災現場実況見分は済んでおり、捜査の関係かは不明であるが、警察が現場の開放をしないため現在も立ち入り禁止となっている。
- 状況の進展があれば速やかに報告をしてもらいたい。

〔産業振興部〕

- ・ 平成 29 年度連休中等祭事・イベントにおける観光客等入込数について

〈 委員から次のような質疑があった。 〉

- 観光客の入込数はどのように調査しているのか。
- △ 御車山祭については、ブロック単位での混み具合を基に、高岡御車山会館の入場者数を加味し、警察や保存会の意見も聞きながら最終的な入込数を推計している。
- この入込数は高岡市民を含んだ数か。
- △ 高岡市民を含む祭りの来場者数である。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

経済消防常任委員会 当局説明員（16名）

産業振興部長	福 田 直 之	消防長	澤 崎 茂
次長 商業雇用課長	山 村 淳 子	次長	寺 口 克 己
参事	宮 本 哲 哉	総務課長	広 田 一 徳
参事	舘 下 徹	予防課長	牧 真
産業企画課長	末 坂 進	警防課長	田 川 裕 之
観光交流課長	長 谷 川 聡	通信指令課長	浦 島 章 浩
農業水産課長	有 栖 友 広		
農地林務課長	村 本 民 則		
みなと振興課長	須 田 稔 彦		
農業委員会事務局長	山 田 晃		